施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　７　スポーツを通じた交流・地域づくりを行う

施策コード	010007

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	教育部　スポーツ振興課	
関係課		

２．施策の目標

10年後の目標

誰もが生涯にわたり多様なスポーツを楽しむことができ、地域社会において、スポーツを通じた健康づくりや仲間づくりによる交流の輪が広がっています。
スポーツ団体のみならず、地域の各種団体や企業などが連携しながら、生涯スポーツや地域の活性化を進めています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇スポーツ施設に対する市民のニーズを捉え、効率的な施設の整備・運営を行います。また、管理運営手法についても研究を進めます。
〇本市の立地や自然環境などを生かしたスポーツの普及に取り組みます。
〇市民ニーズを反映させたスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。
〇スポーツを通じて、企業スポーツクラブや民間事業者と地域団体等の交流を促進するとともに、市民の健康増進・地域活性化、産業振興につながるような取組みを進めます。

市民・団体・事業所等の取組み

〇健康増進のため、スポーツに関心を持ち、生涯スポーツに取り組みます。
〇スポーツ関係団体は自ら研修に参加し、地域スポーツの振興に向けて意識醸成を図り、指導力、企画力の向上に取り組みます。
〇スポーツ関係団体と地域団体や企業などが連携して、地域社会において、スポーツを通じたまちづくりに取り組みます。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

令和７年度から部活動の「地域移行」から「地域展開」に進み、スポーツ基本法が改正され、健康寿命の延伸、共生社会の実現、地域振興、ウェルビーイングの向上など新たに明確化された。

新たな市民ニーズ

少子高齢化やライフスタイルの多様化に伴い、市民のスポーツニーズは競技力向上だけでなく、健康づくりや介護予防、交流促進、共生社会の実現など多様化している。また、猛暑対策や部活動の地域展開への対応など、安全で誰もが参加しやすいスポーツ環境の整備が求められている。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		4.01		4.01	
		会計年度任用職員数			4.0		0.0	
	人件費	直接人件費	千円		47,155		31,350	
		間接人件費			7,105		5,173	
	直接事業費			251,742	222,076	114,299	110,693	126,729
	間接事業費				2,218		2,337	
	フルコスト				278,554		149,553	
財源内訳	使用料及び手数料		千円	20,892	18,855	19,382	18,469	21,418
	国庫支出金							
	府支出金							
	市債			0	107,000	0		3,100
	その他			260	9,224	304	10,261	298
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				143,475		120,823	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			230,590	86,997	94,613	81,963	101,913

備考

５．施策の成果指標

成果指標1		スポーツイベントの参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	15,000	維持	13,893	13,041	15,000	15,000
成果指標2		スポーツ施設の利用者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人	毎年度	250,000	維持	259,327	257,455	250,000	250,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）

事務事業名	最重要指標	事業費 人件費 令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)	方向性		所見
スポーツ協会運営事業 （スポ）	府総体地区大会及び市民スポーツ大会参加人数 R7実績 3,420 人 最終目標値に対する達成率 79.5%	7,109	5,360	5,389	5,941	成果	B：現状維持	スポーツ協会と連携することにより、引き続きスポーツの振興に努める。
		7,189	7,443	6,732	0	資源配分	B：現状維持	
市民体力づくり事業 （スポ）	事業全体の参加人数 R7実績 9,986 人 最終目標値に対する達成率 73.4%	4,962	3,064	3,149	3,628	成果	A：向上を図る	スポーツ教室の開催を通じて、市民がスポーツに親しむ機会を提供、市民の健康増進に寄与した。
		4,461	4,654	6,499	0	資源配分	B：現状維持	
貝塚市スポーツ少年団本部事業 （スポ）	結団式及び体力テスト参加人数 R7実績 334 人 最終目標値に対する達成率 81.4%	108	117	126	135	成果	B：現状維持	子どもへのスポーツに触れる機会として、スポーツ少年団の役割は大きい。引き続き連携し、青少年の健全育成、運動能力の向上を図る。
		2,782	2,906	879	0	資源配分	B：現状維持	
スポーツ推進委員協議会事業 （スポ）	行政機関の行う事業や団体が行うスポーツ行事への協力人数、協議会参加人数 R7実績 121 人 最終目標値に対する達成率 151.2%	1,846	1,471	1,643	2,107	成果	A：向上を図る	市民へのスポーツの普及・振興について、スポーツ推進委員の役割は大きい。イベント等の開催により普及活動を引き続き行う。また、市民からの多様な要望に応えられる体制づくりを検討する。
		2,819	2,940	2,545	0	資源配分	B：現状維持	
学校体育施設開放事業 （スポ）	小中学校体育施設利用人数 R7実績 91 千人 最終目標値に対する達成率 82.7%	1,212	1,213	1,213	1,213	成果	B：現状維持	各校の開放運営委員会が円滑に運営できるよう支援を行う。
		1,964	2,047	772	0	資源配分	B：現状維持	
スポーツ交流推進事業 （スポ）	卓球及びクリケット参加人数 R7実績 1,201 人 最終目標値に対する達成率 114.3%	2,692	2,745	3,008	3,444	成果	A：向上を図る	日本生命女子卓球部及び野球部が市内に在籍する利点を活かし、市民の応援機運を高めるため、選手・指導者によるスポーツ教室の開催などによりPRに努める。 ドローン・クリケットフィールドを市内外にPRするため、市内児童・生徒を対象としたクリケット体験会や海外チームとの交流を通じ、競技の普及に努めた。
		6,957	7,213	7,824	0	資源配分	B：現状維持	
体育施設維持管理事業 （スポ）	スポーツ施設利用者総数 R7実績 257,455 人 最終目標値に対する達成率 103.4%	88,539	207,276	94,595	109,111	成果	A：向上を図る	各施設とも老朽化が進んでいる。市民が安全に利用できるよう、優先順位を設定し必要な修繕を行う。
		23,685	25,033	9,753	0	資源配分	B：現状維持	
競技スポーツ大会出場奨励金交付事業 （スポ）	個人及び団体への奨励金交付件数 R7実績 62 件 最終目標値に対する達成率 177.1%	1,010	830	1,570	1,150	成果	B：現状維持	スポーツに取り組む市民を応援し、モチベーションを高める制度として、今後も継続する。
		1,938	2,024	1,519	0	資源配分	B：現状維持	

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	未達成。子どもの減少や、参加者の減少について時代の変化に応じた対応が必要。SNS等を活用し、情報発信の充実により、参加者への周知や事業の魅力向上に努める。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	特になし。

８．今後の方向性	
担当部長の所見	少子化や参加者の減少を見据え、市民ニーズに応じた事業の見直しを進めるとともに、SNS等による情報発信を強化し、事業の魅力向上と参加促進を図ることにより、市民の運動習慣の定着と健康寿命の増進につなげる。
担当副市長の意見	少子化や参加者の減少が続く中、誰もが生涯にわたり多様なスポーツを楽しむことができ、地域社会において、スポーツを通じた健康づくりや仲間づくりが推進されるよう、事業の魅力向上と参加促進を図る。